



# 国立大学リスクマネジメント情報

2024(令和6)年9月号

<https://www.janu-s.co.jp/>

## 特集テーマ

## 事故防止のためのお役立ち情報

弊社は、国立大学総合損害保険等の保険の取扱代理店ですが、各大学等のリスクマネジメントに資する業務にも取り組んでおり、保険会社やその関係会社から事故防止のための様々な情報が寄せられます。

本号では、各大学での事故防止の取組みに資すると考えられる新サービスや新技術の中から2つをご紹介します。

### 1. みんなガスシル

#### (1) 高圧ガスによる事故

大学の実験等では、様々な産業ガスを利用しており、関連した事故も発生しています。1991年には、モノシランガスの爆発により学生2名が亡くなり、5名が負傷する事故が発生しており、危険と隣り合わせで実験を行っていると言えます。

<高圧ガス等による事故例>

| 保険  | 概要                                                            | 保険金支払額  |
|-----|---------------------------------------------------------------|---------|
| 学研災 | 装置のメンテナンス中、ガス注入時に爆発し、飛散したガラスで顔や首に切創を負傷。外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。 | 7,850千円 |
| 学研災 | 液体窒素をタンクに補充する際、タンクを持ち上げ、急激に力を加え捻挫。                            | 110千円   |
| 学研災 | ガスボンベを交換中、誤って先生が新品のボンベを開栓し大音響が発生、耳鳴りが起きた。                     | 3千円     |

出典：以下の公益財団法人日本国際教育支援協会発行の資料により弊社作成

『学生生活における事故の傾向について』

『学生教育研究災害傷害保険(学研災)からみた学生生活における事故の傾向と事例(2016年度～2020年度)』

[http://www.jees.or.jp/gakkensai/jiko\\_tokei.htm](http://www.jees.or.jp/gakkensai/jiko_tokei.htm)

『学生教育研究災害傷害保険(学研災)年次報告 令和3(2021)年度』

#### (2) 「みんなガスシル」の概要

日本酸素ホールディングスグループの産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社は、安全・安心にガスを扱っていただくため、産業ガスの正しい取り扱い方法と危険に対する意識の双方を学べる「みんなガスシル」を企業向けに提供しています。

産業ガスを利用する会社が行う産業ガス保安教育を楽にしてくれるサービスで、「ガスシルラーニング(高圧ガス保安教育動画)」と「ガスシルサロン(安全を学ぶオンラインサロン)」の2つで構成されており、組み合わせて活用することで、産業ガスの取り扱いを効果的に学ぶことができます。

導入企業に対する調査では、自社で講習会を実施するよりも準備時間も含めて大幅な時間短縮をすることが可能と試算されています。各大学でも理系の学部・学科等で高圧ガスの取扱い方法等について学生に対して講義で指導したり、講習会を開催したりして教育に努めていると思われますが「みんなガスシル」で置き換えることができる可能性があります。



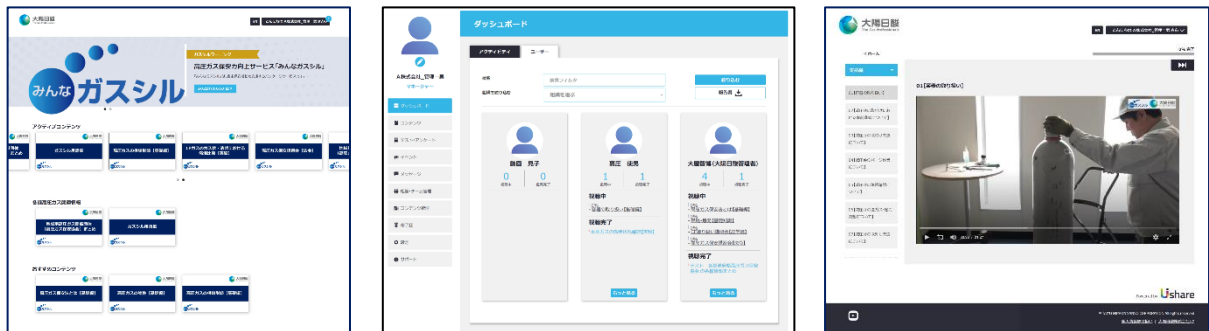
## (2)ガスシルラーニング(高圧保安ガス保安教育動画)

ガスシルラーニングは、高圧ガスに関する知識、危険意識を高めることができる高圧ガス保安教育動画が見放題のサービスで、次のような特徴があります。

- ・ガス種/設備にあった動画 100 本以上が用意されている。
- ・初心者/管理者のレベル別の動画プレイリストが用意されている。
- ・動画視聴記録/理解度テスト記録の取得も可能

ガスシルラーニングの画面イメージや視聴できる動画コンテンツの一覧は次のとおりです。また、下の QR コードからサンプル動画を見ることも可能です。

### 【ガスシルラーニングの画面】



### 【視聴できる動画コンテンツ一覧】

| 高圧ガス保安講習会 基礎編                                 | 供給機器選定から設置まで                                 | 高圧ガスの危険性動画                                         |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 法令を学ぶ(8チャプター)                                 | 初期条件確認・機器選定・申請書資料・申請届出・基礎工事・CE設置方法・完成検査・初充填等 | 酸欠・爆発・緊急中毒・慢性中毒事故<br>低温・高圧・酸欠・液封・可燃性・支熱性・断熱圧縮 等    |
| 機器の取り扱いを学ぶ(3チャプター)                            |                                              |                                                    |
| 高圧ガス保安講習会 応用編                                 | エレクトロニクス関連                                   | 高圧ガスの物性・特性動画                                       |
| 一般編(9チャプター)                                   | 特殊ガス(危険性・特性・事故事例・緊急時の対応)等                    | 窒素・酸素・アルゴン・二酸化炭素・ヘリウム・水素・プロパン・アセチレン                |
| 法令編(11チャプター)                                  | 機器(配管・ノリブ・継手・圧力調整器・シリンダーキャビネット・精製装置・除害装置)等   |                                                    |
| CE取扱い講習会                                      | 溶断作業                                         | 高圧ガスの基礎知識                                          |
| 座学編(8チャプター)                                   | 座学編(16チャプター)                                 | 圧力・メガパスカル・温度・相対質量・モル・原子量・アボガドロの法則・比重・ボイル・シャルルの法則 等 |
| 実技編(3チャプター)                                   | 実技編(ガス切断装置の構造・切断作業の手順)                       |                                                    |
| LGC取扱い講習会                                     | KYT(危険予知トレーニング)動画                            | LGPの取扱い                                            |
| 座学編(6チャプター)                                   | CE日常点検(17チャプター)                              | LPGの特性と法規                                          |
| 実技編(7チャプター)                                   | 容器運搬(10チャプター)                                | LPGの日常点検                                           |
| 容器取扱い講習会                                      | 緊急時対応動画                                      | 実験動画                                               |
| 座学編(11チャプター)                                  | 緊急時対応                                        | 容器転倒・高圧力・断熱圧縮・液封・酸素富化・低温脆性・LGCの転倒落下・モノシラン燃焼 等      |
| 実技編(7チャプター)                                   | CEの緊急時対応(4チャプター)                             |                                                    |
| ローリ受入時の注意点とお願い                                | 事故事例動画                                       | その他                                                |
| ローリ停車位置・動線の確保・ローリの死角と誘導・夜間納入での危険・植栽による走行への影響等 | 液化ガス(5チャプター)<br>ガス(2チャプター)                   | 産業用ガスの検知警報器・ガスセンサの原理・各種理解度テスト                      |



【サンプル動画(Youtube)】

[「高圧ガス保安法とは」](#)

[「ガスシラレーニングの使い方ご紹介動画」](#)



(3)ガスシルサロン(安全を学ぶオンラインサロン)

ガスシルサロンは、安全や保安力向上をテーマとした様々なウェブセミナーで、専門家による講演や危険感受性向上セミナーが定期的に行われており、何名でも受講できます。

【[高圧ガス危険感受性向上セミナー紹介動画\(Youtube\)](#)】



(4)大学・高専・工業高校対象に無償提供を開始

同社は、産業ガスを扱う学生が、正しい取り扱い方法、危険に対する意識を学べるよう大学・高専・工業高校を対象に「みんなガスシル」の無償提供を行っています。

全学単位や研究室単位で事前登録を行い申し込むことで「みんなガスシル」のサービスを無償で使うことができます。アカウントは無制限に発行することが可能で、またアカウントを共有して使うこともできます。講義、説明会や研究室での教育等、使用方法について特に制限はありません。

(5)みんなガスシルのお申し込み

みんなガスシルのお申し込み/詳細については、次の QR コードから可能です。使用にあたっては、事前の登録が必要であり全学単位だけでなく研究室単位でのお申し込みが可能です。

【[大学・高専・工業高校向け 高圧ガス保安力向上サービス「みんなガスシル」](#)】





## 2. SPT 配管診断

### (1)給排水管破損等の事故

建物の老朽化を原因とする漏水事故は、大学でも多発しており、国大協保険メニュー1のオールリスク特約で高額な保険金支払が発生しています。

| 特約名      | 概要                                  | 保険金支払額     |
|----------|-------------------------------------|------------|
| オールリスク特約 | 天井裏に設置の冷温水管が破裂。温水が漏出し3階～1階までの水ぬれ損害。 | 109,652 千円 |
| オールリスク特約 | 3階排水管のつまりにより2階に漏水、シークエンサー装置が損傷。     | 23,191千円   |
| オールリスク特約 | 附属病院の厨房検収室天井より漏水、天井ほか倉庫内の備品に濡れ損害。   | 20,725 千円  |
| オールリスク特約 | 9階配管から漏水し6階のガスクロマト室の実験機器が破損。        | 15,756 千円  |
| オールリスク特約 | X線解析装置冷却水配管から階下へ漏水。                 | 14,802 千円  |

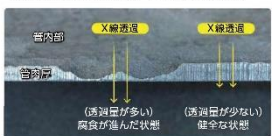
### (2)SPT 配管診断

給排水管は主管・枝管が複雑に繋がって全体を構成しており、建物内部等に配置され、また外側は保温材等で覆われているため、配管内部の腐食を確認することが難しくなっています。

このため、一部のみの腐食であっても全体を更新する大規模な修繕を行って多大な費用がかかったり、逆に必要な部分の修繕が行われず破損による大きな水濡れ事故が発生する危険があります。

SSK ファシリティーズ株式会社が提供する、SPT 配管診断は、X線デジタル画像解析手法を使用し、建物の給排水管、空調配管等の腐食による残存肉厚を高精度で測定し判定する技術で、給排水管余寿命を高精度で判定し、配管類を①速やかに更新、②5年以内に更新、③10年以内に更新、④10年以降も使用可に分類する事が可能です。

この診断を活用することで、更新が必要な給排水管の段階的な修繕計画を作成できるため、コスト削減と老朽化対策への支援を同時に行う事が可能です。多種多様な建物に活用でき、国会議事堂等の官公庁でも導入実績があり、政府のインフラメンテナンス大賞を受賞する信頼できる技術です。

|                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>特徴1</b></p> <p>X線透過技術により、配管の状態を可視化した上で、分析および解析</p>  | <p><b>特徴2</b></p> <p>管種や位置ごとに配管の寿命を正確に数値化することで、更新予定時期の把握が可能</p>  | <p><b>特徴3</b></p> <p>段階的な修繕計画を作成でき、コスト削減と老朽化対策を支援</p>  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

SPT 配管診断の導入事例では、全面改修工事の見積8,000万円だった工事が、診断の結果、雨水管のみ改修工事、空調配管は薬注処理に延命、他の管種は10年以上は継続使用可能と判定され、総額600万円に抑えられたケースも報告されています。

<参考>

[SPT 配管診断概要版動画](#)



[SPT 配管診断 HP](#)





## &lt;第4回インフラメンテナンス大賞 受賞概要&gt;

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03award04.html>

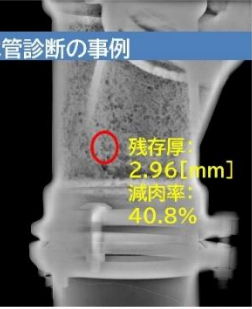
技術開発部門

厚生労働省

**優秀賞**

現状を正確に把握し  
**建物配管の長寿命化を図るSPT配管診断**  
用途が同じで経過期間がほぼ同じでも劣化度合が大きく違います。

**SPT配管診断による雑排水管診断の事例**  
腐食劣化なし  
【38年経過 推定耐用年数20年以上】

**残存厚 2.96[mm]  
減肉率 40.8%**  
【32年経過 推定耐用年数6.8年】

**配管のX線撮影の様子**

**解析・診断の様子**

**福祉分野**  
**SPT配管診断による建築物の  
配管改修・更新工事のコスト削減**

**取組概要**  
建築物の給・排水配管、空調配管等の余寿命を、X線デジタル画像解析手法を使用し、高精度で判定する診断技術。  
経年劣化した給・排水配管等の更新工事前に本配管診断を実施し、配管類を①速やかに更新25年以内に更新③10年以内に更新④10年以降も使用可に分類し判定する。不要不急な配管更新を避け、非常に高額な給・排水配管等の更新費用を削減できる。配管の長寿命化を実現し、膨大なCO2の削減にも寄与する。

**受賞理由**  
従来のX線診断を向上させ、大規模な工事を要せずに配管の状況を把握し、低コストで効率的に配管の改修を行うことを可能とした点は、営業を停止して工事を行うことが難しい公共施設・福祉施設等において有用な技術である。他分野への応用も期待でき、今後の配管の維持・管理の効率化に資する点が評価された。

**取組のポイント**  
開発した本手法は、陰影のみで判断していた配管のエックス線透過画像を、イメージングプレートを利用し撮影し、得られたデジタル画像に基づいたデータから従来不可能であった配管の腐食による残存肉厚を高精度で測定し判定する技術である。建築配管は、点検しにくい場所に設置され、厚い保温材で覆われており、腐食は管内部から進行していくため、いつ修繕したらよいか、あるいは更新したらよいかの正確な判定が非常に難しい。本技術では、従前からの判定手法で困難となっていた課題を解決した。

**受賞者について**  
  
**受賞者**  
札幌施設管理株式会社  
田中芳章/横山光紀/市橋宏章  
森本隆之/佐藤弘章/大里英夫/中平光則

**コメント**  
この度は、大変名誉な賞をいただき誠にありがとうございます。SPT配管診断では、数値に基づく定量的診断が実現できます。配管の寿命が見える化されますので、設備更新時期の的確な判断に寄与できます。今後ますます老朽化していく建物の長寿命化への要望に応えるべく、技術向上に邁進し、社会課題の解決に向けて一層貢献できるよう取り組んで参ります。

**団体概要**  
昭和51年の設立以来、一貫して設備の維持管理に特化したエンジニアの育成を図りながら、公共インフラ施設などの保守管理を実施してきました。ここ数年、激変する中小企業を取り巻く状況にフレキシブルに対応するため、新規事業開発を積極的に行い、維持管理の理念を大切にしながら、技術力向上に意欲的に取り組んでいます。

**問い合わせ先**  
札幌施設管理株式会社  
TEL:011-868-5000  
ホームページ問い合わせフォーム →  
<http://www.sapporo-sk.co.jp/>



※上記記載の、札幌施設管理(株)について、2024年1月に社名が変更になりました。  
(変更前)札幌施設管理(株) → (変更後)SSK ファシリティーズ(株)

お問い合わせはこちらから  
SSK ファシリティーズ株式会社 HP  
<https://www.ssk-fa.co.jp/company/>

問い合わせ先(こちらの問い合わせフォームからお願いいたします。)  
<https://www.ssk-fa.co.jp/contact/>



2024. 8 月

## 大学リスクマネジメント News PickUp

&lt;Web から大学（国立以外含む）関連ニュースを検索&gt;

## &lt;大学の管理・経営&gt;

8. 8 ○大学の元職員が発達障害を理由に不当に雇い止めをされたとして、地位確認などを求めた訴訟は、地裁で和解が成立した。元職員が退職を受け入れた上で、大学は障害のある職員に対して合理的配慮を行っていくことを確認した。元職員は障害者雇用枠で大学に採用され、2021年4月から勤務を始めた。雇用期間は1年間で5年までは更新が可能だったが、翌年2月に大学から契約を更新しないと通告された。「毎月の同じ業務をいまだに覚えることができず間違える」ことなどが理由だった。
8. 9 ○大学が2015年～23年に発注した病院の改修など計140件、総額約33億円の工事を巡り、前理事長の側近が管理する3社が、工事の元請け業者を通じて「コンサル料」などの名目で業務委託契約を結び、計1億数千万円を受領していたことがわかった。側近は大学同窓会の元職員で、3社からは元職員の母親名義などの口座に計5千万円以上が送金されていた。
8. 23 ○大学は、付属小学校が2021年に「重大事態」と認定したいじめを1年以上にわたり文部科学省へ報告しなかった問題で、22年5月の文部科学省の調査に対し、第三者委員会が設置されていないのに「設置されている」と回答していたと発表。実際に第三者委員会が設置されたのは23年7月だった。いじめ防止対策推進法は、重大事態があった場合は事案ごとに文部科学省に報告するよう義務付けている。

## &lt;事件・事故&gt;

8. 6 ○大学に対し金銭を要求する脅迫文が見つかった。要求に応じなければ、爆弾を仕掛けたので、8月7日午前6時から順次爆破するとの内容だったという。警察が構内に入り、危険物の有無を捜査しているが大学では、教職員や学生に対し、速やかに大学構内から出るよう呼び掛けている。
8. 16 ○大学のキャンパスに卒業生の男が侵入したうえ、女子トイレで学生を盗撮しようとした疑いで現行犯逮捕。男が個室トイレの上からスマートフォンを差し向けたところ、中にいた女子大学生が気づき、男を追いかけて身柄を確保した。
8. 21 ○大学付属病院は、がん患者2人に抗がん剤を過量投与したと発表。過剰投与の原因は、医師が投与を指示したミリグラムの薬を薬剤師が調剤するために必要なミリリットルに換算する際にシステムの不具合が起きたという。過剰投与を受けた患者2人のうち、2月に約1.2倍の量を投与された患者には異常はなかったが、もう1人の患者は1月に約2倍の薬を3日間連続で投与された結果、高度の神経障害が生じた。この患者は、6月にもともと患っていた血液がんが進行して亡くなった。
8. 24 患者が○大学病院で、不要な手術で右肺の大部分を摘出されたとして大学を相手取り、約1000万円の損害賠償を求めて地裁に提訴。患者は2017年2月、病院の定期健診で「肺がん」だ。早期に手術をしなければ危険」と診断され、右肺の大部分を摘出する手術を受けた。その4カ月後に、病院の医師から実際は肺がんではなく炎症で、手術する必要がなかったことを告げられた。女性は息苦しさを感、体調不良を訴えているという。病院が十分な検査をすることなく手術を行い、診断上の注意義務違反や医師の説明不足があったなどと主張している。
8. 26 ○大学歯学部のカンパスで「複数の人が吐き気や気持ち悪さを訴えている」と消防に通報があった。学生と教職員あわせて10人が体調不良を訴え、中には歩くのが難しい人もいたということで、順次、病院に搬送された。キャンパス内にある食堂で提供された食事が原因の食中毒の可能性があるので、保健所に連絡して状況を詳しく調べている。
8. 27 無職の男が○大学の交流会館に侵入し、エレキギターなど2点（時価計約8万4000円相当）を窃取したとして建造物侵入と窃盗の疑いで逮捕。警察に大学関係者から「部員のギターが転売されている」と通報があり、捜査したところ男が浮上した。

## &lt;入試等関連&gt;

8. 20 ○大学は、大学院修士課程の入試で出題ミスがあったと発表。筆記試験の専門科目のうち「化学結合論」と「電気回路論」の小問の問題文に誤りがあった。該当の問題は受験生全員を正解とした。試験後に受験生から指摘があったり、採点時に出題担当者が気づいたりして判明した。可否に影響はない。
8. 27 ○大学は、博士前期課程の一般選抜試験で、入試問題に出題ミスがあったと発表。「物理」を出題範囲とする必須科目において、解答を導くために使用できる余弦定理の式に誤りがあった。試験中に受験生から試験監督に対して指摘があった。大学は、出題ミスのあった設問やそれに関連する設問のあわせて6つについて、全員を正解として採点する方針を試験当日のうちに受験生に伝えた。可否に影響はない。
8. 30 ○大学は、大学院博士前期課程の一般選抜と外国人留学生特別選抜の入学試験で出題ミスがあったと発表。工学研究科「建築学」に関する試験で、問題文に「熱伝導率が上昇する」と書くべきところを「低下する」とするなど記述に複数の誤りがあった。採点の際に出題者が気付いた。また、生活科学研究科では不適当な記述を1つ選ばせる選択問題で、当てはまる選択肢が2つあった。受験者からの指摘で発覚した。受験生全員を正解とし、可否に影響はない。



8. 31 ○大学は、大学院前期博士課程の入学試験で解答例が記載された問題文を配布するミスがあったと発表。配布ミスがあったのは、数理・情報分野データサイエンス、知能情報工学の各コースを受験した「専門科目ー2 2群」。この科目は必須科目の「プログラミング」のほか、4つの選択科目から1つを選び解答する方式だったが、選択科目のうち「人工知能」の問題文に解答例が記載されていた。試験時間中に受験生の指摘で判明。試験後、選択科目は全員満点にすると説明。可否に影響はない。

### <情報セキュリティ>

8. 27 ○大学は、図書館が提供する貴重書アーカイブの公開用サーバが不正アクセスを受けて改ざんされ、海外のWebサイトに誘導される状態になっていたと発表。学外から大学のサイトが、改ざんまたは不適切な埋め込みの被害を受けている可能性があるとの通報があり、調査したところ、サーバが不正アクセスを受けていることがわかった。サーバで利用していたPHPの脆弱性が突かれ、学外からのHTTPを用いた攻撃を受けてサーバ上のファイルが改ざんされてSEOポイズニングを受けた。これにより、サーバのドメインに対するGoogleの検索結果が汚染され、海外のWebサイトに誘導されるようになっていた。

### <ハラスメント>

8. 3 ○大学は、非常勤講師が2022年度に複数回、学内で複数の学生の体を触るなどのセクハラ行為を行ったとして懲戒解雇にしたと発表。2024年6月、大学に外部から非常勤講師についての情報が寄せられ、大学側は調査委員会を立ち上げ、理事会で懲戒解雇を決定。
8. 8 ○大学は、5月にパワーハラスメントを理由に停職3カ月の懲戒処分を受けた教授について、別のパワーハラ行為が発覚したとして、新たに停職5カ月の懲戒処分とした。これで教授の停職期間は8カ月となった。教授は、4月、自分がパワーハラで懲戒処分を受ける対象になっていることを知ると、同じ教室の教員に対し「お前がハラスメントをやったのか」などと尋ねるなどし、処分を軽くするための証言を求めた。この教員から相談を受けた大学が事実関係を確認し、懲戒規定に基づいて現在停職中の教授に対し、新たに停職5カ月を追加した。また、教授の教室にいる准教授は、教室体制を維持させるため、教授の懲戒処分を軽減させようと教員に対し、処分に反対する証言をさせようとした。大学は、准教授に対しても停職1カ月の懲戒処分とした。
8. 9 ○大学の教授が元学生にセクハラ行為を行ったなどとして停職2カ月の懲戒処分。教授は、在学時教え子だった学生に、性的な内容を含む手紙等を複数回自宅に郵送するなどセクシャルハラスメント行為を行っていた。学生が卒業した後「現役学生の進路についてOBの話参考にした」といった虚偽の説明を大学にして、学生の友人の連絡先を不正入手。この友人に手紙を書いて、教授が把握していた学生のプライバシーにかかる情報を漏らしていた。卒業した学生や友人から大学に相談があり、大学側が約半年間、調査していた。
8. 23 ○大学は、教員が指導していた女子学生と性的関係を継続して、セクシャルハラスメントとアカデミックハラスメントを行ったとして懲戒解雇処分にしたと発表。女子学生はすでに卒業していて、教員は既婚者だという。大学は、教員は学生が強く意見することが困難な立場であることを十分に考慮することなく、性的関係を結び、継続し、学生の研究活動に関する意思決定過程に不当な影響を及ぼしたとしている。2024年1月、学内のハラスメント相談窓口に相談があり、ハラスメント防止委員会に対し、ハラスメントの認定を求める申し立てがあった。その後、ハラスメント防止委員会での審議でハラスメントが認定された。
8. 28 ○大学は職員が過去にパワーハラスメントが認定され、上司から注意を受けたにも関わらず、部下に対し、2022年4月から6月にかけて「定時で帰るのはいいけどやることはやって」「何年もいてそんなことも知らないの」など職務上の地位や権力関係を利用して、日常的に高圧的な口調で叱責するなど不適切な指導や言動を繰り返すなどパワーハラスメントを行い、その結果、部下に著しい精神的な苦痛を与え、食事を取れない、動悸や手の震えが出るなどの状態にしたとして減給1カ月の懲戒処分。

### <学生・教職員の不祥事>

8. 1 ○大学の学生が女性用の下着を盗もうと面識のある女性が住む住居の1階の窓から侵入しようとしたとして住居侵入未遂の疑いで逮捕。窓を開けられるなど家の異変に気付いた女性の家族が父親に電話し、父親が急いで帰宅したところ、学生が窓から侵入しようとしているところを発見し、見つかった学生は逃走した。父親が警察に届け出た。
8. 1 ○大学は、職員が超過勤務手当を不正に受給するなどとして減給3カ月（給料3分の1）の懲戒処分。今年4月末ごろ、危機対策室宛に「不正行為をしている」といった内容が書かれた匿名の文章が届き、大学が調査したところ、のべ180日であわせて45時間12分の遅刻・早退を繰り返し、給料約5万円を不正に受給していた。ほかにも、実際は残業をしていないのに、のべ68日であわせて126時間の超過勤務手当の申請をして約17万5千円を不正に受給していたことも明らかになった。
8. 1 ○大学は、今年5月に覚醒剤取締法違反の疑いで逮捕された教員を懲戒解雇したと発表。教員は、自宅で覚醒剤を所持した疑いで厚生局麻薬取締部に逮捕、その後、覚醒剤を使用した疑いでも再逮捕されていた。
8. 4 ○大学の学生が路上で、自転車に乗っていた女子大学生が信号待ちで停車中に、後方から自転車で近づき、体を触るわいせつな行為をしたとして不同意わいせつの疑いで逮捕。学生は、警察署に「不同意わいせつをした」と出頭した。



8. 4 ○大学の学生が6月27日と28日、JR平井駅のホームにエアガンなどを発射して、電車を待っている女性の首下や背中などに4発、男性の左肩に1発を命中させた疑いで逮捕。学生は、ホームから40m離れた自宅マンションのベランダから乗客を撃って、駅員が2日間でホーム上から約80発の弾を回収した。
8. 6 2024年6月、酒を飲んだ状態で運転して追突事故を起こし、1人にケガをさせたとして過失運転傷害などの罪に問われていた○大学の職員に、地裁は、基準値の3倍のアルコールが検出される状態で運転し刑事責任は軽視できないとして懲役8カ月、執行猶予3年の有罪判決を言い渡した。
8. 8 ○大学の職員が酒を飲んで車を運転したとして酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕。パトロール中の警察官がふらつきながら走行する乗用車を発見し、職員の呼気を調べたところ、基準値の3倍近いアルコールが検出された。
8. 11 ○大学の学生が住宅に侵入し、女性用下着2点を盗んだとして住居侵入と窃盗の疑いで再逮捕。住人から「自宅インターホンを鳴らす若い男の画像がある」と不審に思い警察に相談があり、事件が発覚。学生は女性の下着を盗むため住宅に侵入しようとしたとして、すでに逮捕されていた。
8. 13 ○大学の学生が国道で、居眠り運転をして対向車線にはみ出し、相手の車と正面衝突し、対向車に乗っていた女性1人を死亡させ、女性1人に重傷を負わせたとして過失運転致死傷の疑いで逮捕。
8. 19 ○大学の学生が知人女性のキャッシュカードを不正に入手し、その後2023年4月から2024年3月までの間に30回にわたり、コンビニATMで合計232万円を引き出し盗んだ疑いで逮捕。引き出し履歴から引き出したコンビニを特定し、コンビニの防犯カメラを確認し、逮捕。
8. 19 ○大学の学生が8月12～16日、オンラインゲームで知り合った女子中学生を未成年だと知りながら、自宅に誘い込み誘拐したとして未成年者誘拐の疑いで現行犯逮捕。女子生徒の家族から「娘が帰ってこない」と警察に相談があり、捜査していた。
8. 20 ○大学の職員が駅の歩道で街頭演説をしていた県議の首を絞めるなどの暴行を加え、顔や足の打撲など全治2週間のケガをさせたとして傷害の疑いで逮捕。県議が「見ず知らずの男に暴力を振るわれた」と警察に相談。防犯カメラの映像などから容疑者を特定した。
8. 21 ○大学は、教授2人がそれぞれスマートフォンで女性を盗撮したとして論旨解雇したと発表。A教授は今年6月上旬、スマートフォンで女性を盗撮したとして現行犯逮捕されていた。B教授は今年6月下旬、駅構内でスマートフォンで女性を盗撮したとして警察に職務質問を受け、盗撮の事実を認めていた。
8. 22 ○大学は、職員が医師の診断書を不正に書き換え、病気休暇を長く取得しようとしたとして停職10日の懲戒処分にしたと発表。職員は2023年12月、病気のため2日間の療養が必要とされたが、医師の名字と同じ訂正印を入手して診断書の記載を5日間に書き換え、病気休暇を申請した。内容に違和感を覚えた上司が医師に確かめ、不正がわかった。
8. 26 ○大学の学生が氏名不詳者らと共謀のうえ、老女に金融機関職員を名乗り「市役所から通知が届いていますか」「手続きしたほうが良いですよ。通帳に振り込みますよ」などと電話をかけ、金融機関職員を装って被害者方を訪れ、通帳1通をだまし取ったとして詐欺の疑いで逮捕。警察は、金融機関の職員からのホットライン通報で事件を認知し、防犯カメラなどの捜査で学生の犯行を特定した。
8. 28 ○大学は、元事務嘱託員が2019年8月から2023年10月までの間に科学研究助成事業の研究費(科研費)を600万円以上着服したと発表。元事務嘱託員が退職した後、担当教員が発注していない「図書カード」について、業者から「納品したのに支払いがない」と問い合わせがあり、大学が調査したところ、元事務嘱託員が「研究の謝礼」名目で発注して自分で受け取り、換金していたことがわかった。さらに調査を進めたところ、海外から来る教員の旅費に関して架空の請求書を作成するなどの方法で、89件にわたって着服を繰り返していた。元事務嘱託員は、返還の意思は示しているものの、200万円程度しか返還されていない。大学は今後、刑事告発する方針。また、大学は、この問題で元事務嘱託員の上司2人を戒告処分としている。
8. 29 ○大学の学生が5月上旬頃、自身が通う大学のグラウンドでサッカー部女子部員のサッカースパイク1足(時価1万5000円相当)を盗んだ疑いで逮捕。スパイクが盗まれていることに気付いた女子部員が警察に被害届を提出し、学生を逮捕。
8. 30 日本アメリカンフットボール協会は、6月にU20代表が出場した世界選手権中に、○大学の5部員に重大な規律違反があったことを公表。うち、1部員は現地で大麻含有性の薬物を吸引したとみられる。この部員については、大麻含有製品の蓋然性がある物質を使用したことを理由に、日本代表に選抜される資格を無期限停止とし、○大学に対し、当該選手の無期限活動停止を勧告した。その後大学側は会見を行い、大学が行った尿検査で陰性となったことなどから、薬物使用の事実は認定できないと説明。

### ＜不正行為＞

8. 7 ○大学は、論文盗用を認定された前学長に対し、減給の懲戒処分にしたと発表。減給の額や期間は明らかにしていない。大学側が設置した外部調査委員会が2月に論文1点の盗用を認定し、他の論文や著書についても「存在しない可能性が極めて高い」と指摘していた。大学側はこれらの論文などを研究実績表に載せ続けたことを問題視し、ホームページで「研究者として不適切な行為で、学内の研究不正防止規定に反する」と説明した。



## 海外三二情報

※ WEB 上の海外ニュースから海外の大学の動向をピックアップ

### < イギリス大学協会が高等教育の将来像を公表 >

イギリス大学協会 UUK は 9/30 に“Opportunity, growth, and partnership: a blueprint for change from the UK’s universities”と題する高等教育の将来像を公表しました。これは 10 年後を見据えた将来像を示すもので、大学の目指すべき 5 つの大きな変化として、機会の拡大、協力関係の強化、地域成長の創出、研究の確実な推進、新たな国際戦略の策定を掲げています。

その実現に必要な財政基盤を確保するため、政府に対して、過去 12 年間据え置かれてきた授業料への物価スライド制導入と政府による教育グラントの回復を求めています。イギリス政府の高等教育費負担は全体の 16%と著しく低いが、UUK の委託研究によれば高等教育の国の経済へのインパクトは 2650 億ポンドに上り、1 ポンドの投資が 14 ポンドの経済効果をもたらしていると指摘しています。一方、大学としては、教育の合理化、研究分野の集中、AI の活用、地域の機関間の協働などによる効率化を図るとしています。

その他、現在 49%である高等教育進学率は 70%に上昇させることを目標とし、不利な背景を持つ学生への支援を充実させること、留学生受入れについては新たな国際戦略を策定し、政府と大学が持続可能なレベルの受入れと成長を確保するとの契約を締結することなどを求めています。

<https://www.timeshighereducation.com/news/uuks-blueprint-universities-key-recommendations-glance>

<https://www.universitiesuk.ac.uk/latest/news/uk-faces-clear-choice-between-success-or>

<https://www.universitiesuk.ac.uk/latest/news/new-report-reveals-key-role-universities>

### < 韓国銀行が有力大学の入学者選抜への地域枠導入を提案 >

韓国の中央銀行である韓国銀行が 8/27 に公表したレポートにおいて、ソウル大学などの有力大学の入学者選抜に各地域の学齢人口に応じた入学者数の枠を設けることを提案したことが話題になっています。このレポートでは、所得上位 20%の家庭出身者の有力大学合格率は所得下位 20%の出身者の 5.4 倍に上り、合格率の違いを左右する要素の 75%は家庭の財政力で学生個人の能力は 25%にとどまるとしています。また、特にソウルの高校生の家庭は私塾などへの支出が地方の 1.8 倍で、さらにその中でも所得による格差が大きいことを指摘しています。中央銀行がこうした提案を行った背景には、国の経済政策としてソウルへの人口集中と住宅難を解決し、地域的にバランスの取れた発展を実現することが重要課題とされている中で、ソウルの有力大学への入学を目指す過度な競争を是正することが有効と考えられていることがあり、韓国銀行総裁もこの提案を支持して有力大学のリーダーに行動を促しています。

<https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20240904091842205>

[https://www.koreatimes.co.kr/www/biz/2024/09/602\\_381359.html](https://www.koreatimes.co.kr/www/biz/2024/09/602_381359.html)

### < カナダ、オーストラリア、イギリスの留学生受入れ抑制の動向 >

カナダ政府は本年 1 月に留学ビザの許可数を昨年の 43 万件から今年は 29 万件に削減することを決定していましたが、財産要件や労働規制の見直しの影響もあり、今年の実際の発行数は 23 万件と昨年比 47%減となると見込まれています。政府は 9/18 に 2025-26 年の許可上限をさらに 10%削減し、修士・博士学生も初めて制限対象とすることを発表しました。Universities Canada の会長は、これが当面は大学財政にとって大きな問題になるとともに、将来的には我が国の人材獲得競争や経済成長にも悪影響をもたらすことへの懸念を示しています。

同様の動きは他国にも見られます。

オーストラリア政府は本年 8 月に、公的財政支援を受ける大学では来年から留学生数を 2019 年レベルの 14 万 5 千人を上限とする方針を発表し、所要の法律改正はまだですがビザの遅延や拒否は始まっています。

イギリスでは、保守党の前政権が本年 1 月に学部留学生による家族帯同を禁止するとの方針変更を行ったことの影響もあり、留学ビザの申請件数が前年比 17%減となっています。労働党政権は留学生の受入れに寛容な姿勢を示してはいますが、具体的な政策変更には至っていません。これらの背景には、移民の急速な増加により住宅難や公共サービス等の負担増が極めて大きくなっていることがあり、各国の今後の動向が注目されます。

<https://www.timeshighereducation.com/news/canadian-recruitment-collapse-warning-uk-and-australia>



## &lt;大学マネジメントに役に立つ！&gt;

情報誌合冊版 国立大学リスクマネジメント情報 2014.12-2021.12



## &lt;目次&gt;

- I. ニュースから見た大学のリスク
  - II. 国立大学と損害保険
  - III. 国立大学リスクマネジメント情報
- 一冊 2,000 円(消費税込) 送料別

弊社 HP からお求めください。<https://www.janu-s.co.jp/books.html>

## &lt;火災防止チェックリストを公開しました&gt;

- ・ 研究室、事務室における火災防止のための基本的な項目をエクセルのチェックリストにしました。
- ・ 添付の解説書を読むことでなぜチェックが必要か理解できます。

各大学での点検等に是非ご活用ください。

入手はこちら ⇒ [https://www.janu-s.co.jp/fire\\_accident.html](https://www.janu-s.co.jp/fire_accident.html)

**1 なぜ防火対策が必要なのか？**

➤ テーブルトップのトラッキング現象による火災で1億円以上の被害  
テーブルトップなどの少額の周辺機器から出火した場合でも、実験中に設置されている高価な実験設備に被害が及んで高額の被害額となるケースが多くなります。

なぜ高額の被害額となるのか・・・

➤ 煙による汚損で高性能な実験設備に被害  
焼損による被害のほか、毒性煙や実験設備に煙による汚損だけでも使用できなくなるケースがあります。火災で発生する煙や煙は、空調ダクトなどを伝って広範囲に拡大することがあり、火災現場以外でも実験設備が被害を受けます。

➤ 火災現場の下層階にも水漏れによる被害  
消火活動で使用する大量の消火水が、火災現場の下層階にしみ出し、実験設備が水漏れにより使用できなくなるケースがあります。

それに加えて

➤ 火災・事故の発生により学生教育、研究活動、補助事業の継続が困難になります  
生要業務に支障が及ぶよう日常における防火対策が求められます。

**1 火災防止チェックリストについて**

● 火災防止チェックリストの構成

本誌・中巻  
各12ページ、計24ページ、2冊構成です。

チェックシート  
チェックシートは、チェックリストとチェックシートに分かれています。

解説書  
解説書は、チェックリストとチェックシートに分かれています。

チェックリスト  
チェックリストは、チェックシートとチェックシートに分かれています。

チェックシート  
チェックシートは、チェックリストとチェックシートに分かれています。

弊社 HP からお求めください。<https://www.janu-s.co.jp/books.html>

## 配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。(無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <https://www.janu-s.co.jp/>

## 情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。  
⇒ [info@janu-s.co.jp](mailto:info@janu-s.co.jp)

## バックナンバー

- 24. 8月 火災防止チェックリスト
- 24. 7月 夏の事故と保険
- 24. 6月 サイバー攻撃対応報告書から学ぶ
- 24. 5月 大学事故に関する判例紹介
- (2) フィールドワーク中の事故に関する判例—
- 24. 4月 大学へのサイバー攻撃
- 24. 3月 電動キックボード等の事故と保険
- 24. 2月 大学の自律的化学物質管理ガイドライン2
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス

東京都千代田区神田神保町一丁目41番地

協力 三井住友海上火災保険株式会社